

26 叶岡 淑子
二〇〇号はすごいですね。歴代の編集部の方々、ご苦労さまです。手元にある十数年分をめぐってみました。長期の連載で懐かしいのは、坪井幹之さんの「秦泉寺残日録」、水月源「横田慧さんの「飲水思源」、先日逝去された林勤さんの相模シリーズ、また交替でのコラム「草声老語」などです。短歌で榊原・山本さんにも116号から加えていただきもう14年とは！「高退協ニューズ」のさらなる発展を祈ります。

27 *** ** **
一勤評は戦争への一里塚なんて飛躍したスローガンだろうか？ 勤評は教師のエゴ！と思って赴任した宿毛高校。新卒新採の青二才でした。しかし、その職場の猛者揃い！清家、段小野昭・・・城たちまち眼が覚めました。城西中へのバスを運ぶての抗議行動、勤評阻止行動、高岡での学テ反対闘争、昇級延伸！「戦争への一里塚」は正しい予言(見)であつたことが照明されました。「死の商人」がホグソ笑っています。

28 池田 亀喜
高退協には主人亡(進)共々大変お世話になりました。健康に過ごしたいので健康体操で人との対話が出来るまでさみしい気持ちもほぐれます。今後もよろしくお願ひします。

29 永野 寿郎
脳活も三日坊主。「ボケ・ドジ」が止まらない。先日も風呂に入ろうと思いきやお湯が無い。栓をすのを忘れて垂れ流し。自尊心はまだあり、家族にはよう言わない。近くの高齢者支援センター(包括)で簡易認知症検査(無料)を受ければ、目も当てられない惨状。だが、まだまだ困るをする相手がいるのが唯一の救い。時、百花まさに微笑まんとする陽春と言ふの花より「トイレ」とは、トホホホ。・・・

30 山口 享男
高退協山の会では、お世話になってます。お蔭で比較的元気な季節毎の山行を楽しんでいます。今年中に後高年齢者に仲間入りします。無理をしないように楽しむこと、心をかけています。又、共済関係の方にも親切にお世話になり感謝しています。

31 梶原 祥三
近況を報告します。最近は何かと年齢を意識することが多くなりました。好きなテニスでミスが多くなり勝てなくなったり、病気が多くなりだんごの気持ちは強くなり減らします。自

分の時間を増やす方向に重点を移しています。自分のためと言っても何も考えずボーとした時間を持つているだけですが、・・・

32 *** ** **
「継続は力」といいますが年に6回で200号はすばらしい。役員の方々の大変なご苦労ありがとうございました。何かと忙しく毎日を送っています。幸いにして、体の方はまともですが頭の方が、・・・

33 三谷 美佐子
退職して15年。後期高齢者の仲間入りです。高退協会員として、総会と学習会には顔を出さずよう心がけています。元気な皆さんの姿を拝見し社会に目を向けねばと刺激を受けること大です。高退協ニューズ200号すごいですね。支えてくださっている方々のご苦労に感謝と敬意を払いながら読んでいます。

34 梶原 信子
週三回のテニス、だんだんきつくなりつつあります。テニスに行かない日は家事などで一回の仲間とついでいも月も楽しいです。健康第一で毎日を送りたいと思っています。

35 島本 理夫
「ふるさと」で根がくつきみあげてきた暮らし、世代から世代へとつないできた足取りをたどっていくと、私の終活の役割もみえてきました。歴史的な激突の時期とかさなっています。

●歩行力も聴力も大きく後退しました。残った視力を大事にしながら、一つ一つ「終活の仕事」を積み上げていく日々をすごしています。

●最近、力をもらった、本2冊

●「福島が日本を越える日」(かもがわ出版) 浜 矩子
ほか4名 著

●「驚くべき日本語」(集英社)ロジャー・バルバース著
早川敦子訳

36 岡本 肇
退職して平日自由に活動できて幸せ！(そこで昼食も写真撮ったり)金、貯蓄、映画鑑賞、ペットボトル貯蓄など金融機関の利用、地球33番地の清掃、ななこちゃんファイバーで競輪場へ、などイベント、行事にも参加しています。切れ切れですが、二期三学期と、もつれでも、一期限行講師として教員生活も送っていました。年金生活者ですが、臨時収入もありこちらも幸せ(?)でした。高退協の皆様におかれましては御自愛ください。

37 谷内 純一
近況 知人宅へいくと池が埋め立てられてなくなっていました。彼曰く「終活」。そこで私も「終活」の一端として隣家に葉を落とす「アカメガシワ」8本と畑の「文旦」を伐った。それらを「稚苜」の原木にして「種駒」を打ち込んだ。結果は1、2年後判明します。

38 山下 碩彦
200号発行おめでとうございませう。第4号発行の月、1980年2月と言えれば私が高教組推薦管理職第1号として、今は無くなつた室戸高校吉良川分校の教頭を務めた最後の年で、4月からは高知北高校通信制の教頭に転任になりました。管理職の身であり切れていましたが、高等教組の時、高等教組理事、高等教組の役員が切れて、高等教組へ挨拶に行つた時、記念品として花瓶をお贈りした事を想起します。



24 小笠原 鈴子
病気のため50代で退職しました。しかし先輩方に今でもよく相談のつてもらっています。組合に入っていてよかったと思っています。(福寿草の写真)

44 千葉 純子
200号発行おめでとうございませう。執筆の協力者がいることもさることながら、係の方々の多大な努力によるもの、感謝いたします。退職後15年に入りました。てんてんの舞の日々です。4月からさらに拍車が掛かりそうです。

41 山本 晶子
平成七年三月に退職して以来の「高退協ニューズ」を全て保存しています。高退協ニューズは内容が充実していて、私の愛書的な存在です。発行までのご苦労を思いながら読まさせていただきます。これからもよろしくお願ひいたします。

42 田上 悦子
早くも私も80代もあと数年。体力、能力等全ての能力が下降へ向かう中、退職後始めた「短歌」のおかげでなんとか前向きに歩んでいけています。ありがとうございます。幸せな人はあまじい歌が詠えないうようなので、悩み多き老人に向かうにつれ、よい歌ができるかという期待をします。われもという方はぜひ「短歌九条の会」うちへの投稿一首を！

43 笹岡 富美
退職して三年が経ちました。体調がすぐれず、やりたいと思つていたこともできず、人たちがいきいきと活躍したり、新婦人・退婦教・医療生協の活動などできることに参加しています。「戦争法」反対の宣伝・署名活動では、久々にハンドマイクで訴え、皆で力を合わせて廃止にむけて頑張りました！

45 渡辺 正子
200号ですか？・・・継続は力・・・ですネ。私は、自分の原稿が採用された時のニューズは、記念としてとりおいています。

39 吉村 ハル子
退職して早くも十九年を迎えました。高退協ニューズ発行二〇〇号のこと、役員の皆様ご苦労さまです。私たちが役員は、豊富な知識や現況などを教えていただき感謝しています。これから社会情勢や動向などお知らせいただければ幸いです。戦争のできなない国、原発再稼働は許さないと作り、に皆様と共にがんばります。

40 澤田 桂子
ニューズ200号発行おめでとうございませう。歴代の編集委員の方々に感謝します。今後とも、次の峰を目指して頑張ります。毎号楽しんで読んでいます。

退職3年目に入りました。一日一日、過ぎ去るのがとても早いです。元気に楽しく遊ぶために、体力と健康づくりに努力の日々を送っています。

46 彼岸 恵美
ヨルダン・レンタカーで旅してきました。砂漠に寝転んで沈む夕日の神々しさに心奪われ、夜のテントでは「困窮裏」を困んで旅人達各々のお国事情を聞き、日本と比べては羨ましく思つたり驚いたりです。帰りはサウジアラビア(砂漠)・エジプト(アカバ湾)・イスラエル(死海)の国境沿いを北へと走りました。そして、ヨルダン青年が語ってくれた至近すぎる隣国境との係わりの悩ましさについては「こんな時に！」と聲を上げて心配無用で、とても印象深い異文化の旅となりました。(5面に続く)